

KOIDE Mayo

小出 麻代

emphaty
park

2017.1.24 tue. – 2.5 sun. 11:00–19:00 金曜日は20:00、最終日は18:00まで

Gallery PARC 月曜休廊

佐藤 雅晴

SATO Masaharu

関連イベント

アーティストトーク「佐藤雅晴×小出麻代」

2017年2月5日(日) 16:00～17:00

参加無料

主催 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会

企画 井原 亘、大野 咲樹、清田 怜子、倉田 眞実、直本 樹生、助石 一枝、平野 成悟、持木 永大、横田 奈那

監修 吉岡 恵美子 (京都精華大学芸術学部准教授)

デザイン 仲村健太郎

協力 Gallery PARC、imura art gallery

[empty park]

佐藤 雅晴 SATO Masaharu / 小出 麻代 KOIDE Mayo

主催: 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会 監修: 吉岡 恵美子 (京都精華大学芸術学部准教授) 協力: Gallery PARC, imura art gallery

2017年1月24日(火) — 2月5日(日) 11時~19時 金曜日のみ20時まで 最終日18時まで 月曜日休廊



【展覧画像01】 出展作品 佐藤雅晴 《東京尾行》 2015-2016年 12チャンネル・ビデオ

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2017年1月24日(火)から2月5日(日)まで、京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会の主催による[empty park]を開催いたします。

本展はGallery PARCの会場提供による大学協力展として開催するもので、京都精華大学「現代アートプロジェクト演習4」(キュレーションの実践を行う授業)の受講生9名が企画・運営するものとして、昨年の「西山美なコ・川内理香子 stereotypical」展に続き2回目の開催となります。

「無人の公園、空っぽの公園」を意味する「empty park」は、何かをきっかけに、あるいは単に時間帯がずれるだけで、その場所にあったはずのにぎわいや生活感、実体的な存在感が消え、共有されていた体験や記憶があいまいなものに変わることを示唆します。本展では、身近な日用品や見慣れた風景を取り込みながらも、不在の存在や人々の認識のズレ、さらにそこからもたらされる新しい感覚について問いかける二人の美術家、佐藤雅晴と小出麻代の作品世界を紹介します。

佐藤は、撮影した日常的な映像を絵画的に描き起こしたり、実写とイメージを並存させる映像手法で、画面内の世界に新鮮な揺らぎを生じさせます。

小出は日常で目にした現象や、自身の記憶、体験を軸としたインスタレーションを制作。様々なオブジェが連なる風景は、異なる時間や場所、記憶を内包する世界を出現させ、個人の記憶に働きかけます。

展覧会という同じ時空を共有しながらも、二人の作品を通して、我々の認識や意識が新たな領域へとつながる機会になればと思います。

(主催者テキスト)

フランス語で「公園 (parc)」の語を持つ「Gallery PARC」を会場に、佐藤雅晴(さと・まさはる / 1999年 東京芸術大学大学院修士課程修了)の映像作品と、小出麻代(こいで・まよ / 2009年 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了)によるインスタレーションにより構成される[empty park]をぜひお楽しみください。

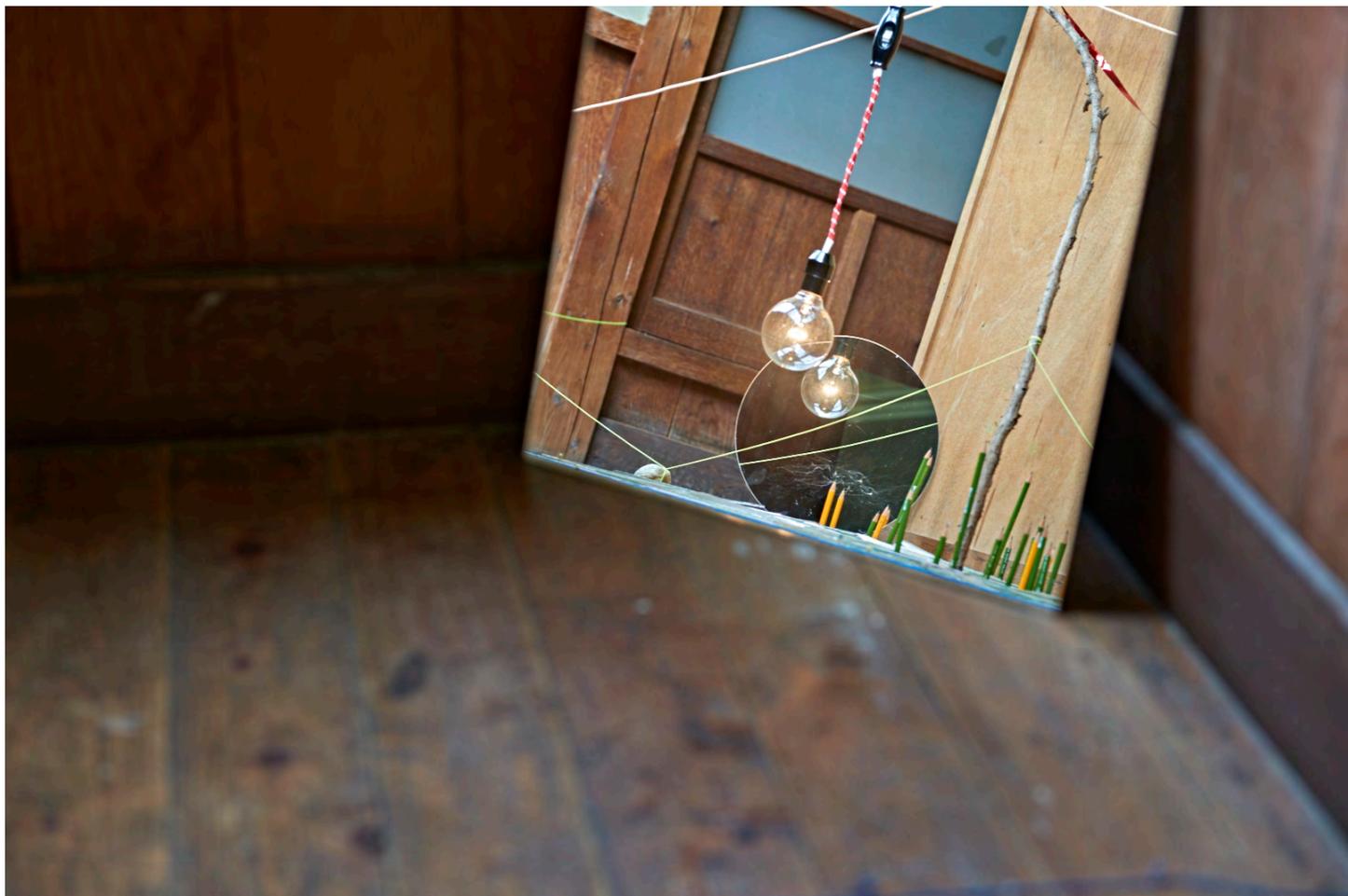
また、会期中の2月5日(日) 16:00~17:00には、出品作家によるトークを開催いたします。こちらにもぜひご参加ください。

[empty park]

佐藤 雅晴 SATO Masaharu / 小出 麻代 KOIDE Mayo

主催:京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会 監修:吉岡 恵美子(京都精華大学芸術学部准教授) 協力:Gallery PARC、imura art gallery

2017年1月24日(火) — 2月5日(日) 11時~19時 金曜日のみ20時まで 最終日18時まで 月曜日休廊



【広報画像02】 小出麻代 《プリズム》 2015年 紐、テープ、電球、電気コード、アクリル板、鏡、ガラス、シリコン、石、水槽、スピーカー、鉛筆 撮影:小川真輝

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、info@galleryparc.com迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 [empty park]

出展作家 佐藤 雅晴 [<http://masaharu-sato.tumblr.com>] / 小出 麻代 [<https://www.mayokoide.net>]

会期 2017年1月24日[火] — 2月5日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで
料金 無料

関連イベント アーティストトーク「佐藤雅晴×小出麻代」 2017年2月5日[日] 16:00~17:00 (参加無料)

主催 京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会(公式Facebook <https://www.facebook.com/seikaartproject/>)

企画 大野咲樹、清田怜子、直本樹生、助石一枝、平野成悟、持木永大、横田奈那

監修 吉岡 恵美子(京都精華大学芸術学部准教授)

協力 Gallery PARC、imura art gallery

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル] 2F
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

[empty park]

佐藤 雅晴 SATO Masaharu / 小出 麻代 KOIDE Mayo

主催:京都精華大学現代アートプロジェクト実行委員会 監修:吉岡 恵美子(京都精華大学芸術学部准教授) 協力:Gallery PARC、imura art gallery

2017年1月24日(火)——2月5日(日) 11時~19時 金曜日のみ20時まで 最終日18時まで 月曜日休廊

「無人の公園、空っぽの公園」を意味する「empty park」は、何かをきっかけに、あるいは単に時間帯がずれるだけで、その場所にあったはずのにぎわいや生活感、実体的な存在感が消え、共有されていた体験や記憶があいまいなものに変わること示唆します。本展では、身近な日用品や見慣れた風景を取り込みながらも、不在の存在や人々の認識のズレ、さらにそこからもたらされる新しい感覚について問いかける二人の美術家、佐藤雅晴と小出麻代の作品世界を紹介します。

佐藤は、撮影した日常的な映像を絵画的に描き起こしたり、実写とイメージを並存させる映像手法で、画面内の世界に新鮮な揺らぎを生じさせます。小出は日常で目にした現象や、自身の記憶、体験を軸としたインスタレーションを制作。様々なオブジェが連なる風景は、異なる時間や場所、記憶を内包する世界を出現させ、個人の記憶に働きかけます。展覧会という同じ時空を共有しながらも、二人の作品を通して、我々の認識や意識が新たな領域へとつながる機会になればと思います。

(主催者テキスト)

本展は、キュレーションを学ぶ京都精華大学の授業「現代アートプロジェクト演習4」の受講生が企画し、運営するものです。

過去の学生による企画展

2014年度

伊藤存・中村裕太「知らない都市 distant neighborhood」

2015年度

西山美なこ・川内理香子「stereotypical」(下はフライヤー)



【広報画像03】 出展作品 佐藤雅晴 《ナインホール「はい…いいえ…」》 2013年 アニメーション、9チャンネル

佐藤 雅晴 SATO Masaharu

1973年、大分県生まれ。1999年、東京芸術大学大学院修士課程修了。2000-2002年、国立デュッセルドルフ芸術アカデミーにゲストシュラー(研究生)として在籍。

主な展覧会として、「DANDANS at No Mans Land」(フランス大使館旧事務所棟/東京、2010年)、「JAPANCONGO」(グルノーブル、フランス、モスクワ、ロシア、2011年)、「第15回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展」(国立新美術館ほか/東京、2012年)、「ジバング展-沸騰する日本の現代アート」(新潟県立万代島美術館/新潟、高崎市美術館/群馬、八戸市美術館/青森、秋田県立近代美術館/秋田、2012~2013年)、「日常/オブジェ」(KAAT 神奈川芸術劇場/神奈川、2014年)、「豊穣なるもの-現代美術in 豊川」(豊川市桜ヶ丘ミュージアム/愛知、2015年)、「原ドキュメンツ10 佐藤雅晴展-東京尾行」(原美術館/東京、2016年)。主な受賞歴は、「第12回岡本太郎現代芸術賞」特別賞(2009年)、「第15回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦、アート部門(2011年)。現在、茨城県取手市在住。

小出 麻代 KOIDE Mayo

1983年、大阪府生まれ。2007年、京都精華大学芸術学部造形学科版画専攻卒業。2009年、同大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。

主な展覧会として、「1floor 2012 金井悠、小出麻代『TTYTY, -to tell you the truth,-』」(神戸アートヴィレッジセンター/兵庫、2012年)、個展「すいこみ はきだし ひろがる」(LABORATORY/京都、2013年)、個展「空のうへ 水のした 七色のはじまり」(the three konohana/大阪、2014年)、「NOTES小出麻代+NOARCHTECTS—ART OSAKA 2015」(ホテルグランピア/大阪、2015年)、「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 2015 枯木又プロジェクト」(旧枯木又分校/新潟、2015年)、「まちの中の時間」(A-lab/兵庫、2015年)、「PAT in kyoto 京都国際版画トリエンナーレ」(京都市美術館/京都、2016年)、「連鎖とまたたき」(京都精華大学ギャラリーフール/京都、2016年)など。現在、大阪府在住。



【広報画像04】

小出麻代 《プリズム》 2015年 紐、テープ、電球、電気コード、アクリル板、鏡、ガラス、シリコン、石、水槽、スピーカー、鉛筆 撮影:豊永政史